

お知らせ(友ヶ島見学と海浜漂着物調査)

森と海の自然科 海グループ 2017. 5. 吉日 中西/前野/日景/児玉

集合日時 2017年5月25日(木曜日) 南海加太駅 9時58分(南海電車加太駅着)

活動の目的

友ヶ島の旧日本軍要塞跡、灯台(非公開)を見学、天然記念物(県指定)満開のイワタイゲキを観察、和歌山県側に面する蒲浦海岸にて漂着物調査を実施する

友ヶ島往復概略スケジュールその他

(往路) 難波発 8:14 - 加太駅着 9:58 - 淡島神社 - 加太港 10:50

加太港発 11:00 - 友ヶ島着 11:30 (野奈浦栈橋)

(復路) 友ヶ島発(野奈浦栈橋) 16:30 - 加太港着 17:50 - 徒歩

- 加太駅発 17:27 - 難波着 18:59

難波 - 加太往復 960 x 2 = 1920円

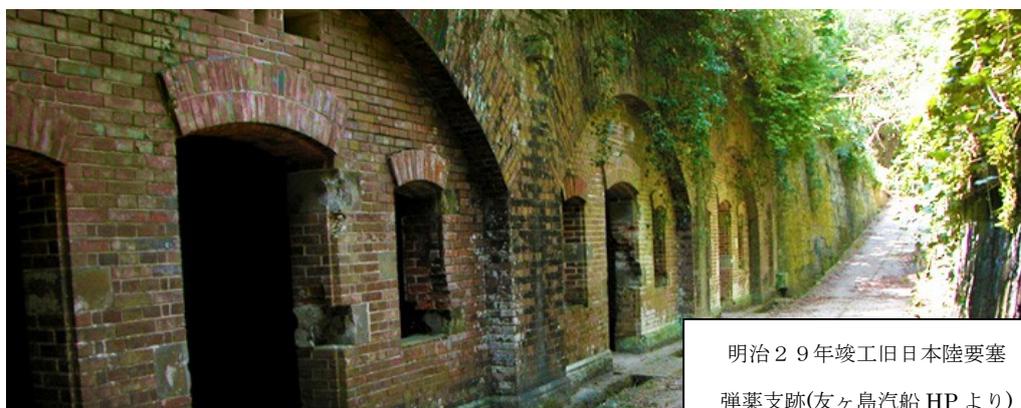
渡船往復 2000円

友ヶ島内でのスケジュール (添付行程 map 参照) 3. 3キロ

11:00 散策開始 野奈浦栈橋 - 南垂水キャンプ場の北の海岸で(漂流物調査及び昼食)
- (第3砲台跡) タカノス山展望台

蛇が池 - 幸助松海岸で(漂着物調査) - 友ヶ島灯台 - 第2砲台跡 - 野奈浦栈橋 (16:30)

持って行くもの お弁当、飲み物、雨具、タオル、軍手 (暑さ対策)



明治29年竣工旧日本陸軍
弾薬支跡(友ヶ島汽船HPより)

友ヶ島概要

(和歌山市観光協会HPより抜粋)

紀淡海峡に浮かぶ友ヶ島は、地ノ島、虎島、神島、沖ノ島の総称名。沖ノ島には、旧日本陸軍要塞時代を偲ばせる砲台跡が点在。それらをめぐるハイキングコースが開かれています。

純白の姿がコバルトブルーの海に見事に映える洋式灯台、第2砲台跡をはじめ、展望台、第3砲台跡、栈橋とめぐって約1時間30分。島内中央部の深蛇地では、天然記念物の湿地帯植物が群生しており約400種もの植物を見ることができます。また、古い歴史をもつこの島は、役の行者に始まる修験道にまつわる史跡や行場も現存します。

トサムラサキ、クスドイゲ、カンコノキ、テツホシダ、サンショウモ、イトタヌキモ等の珍しい植物やタイワンリス、タイワンシカが住んでいます。

海浜漂着物

瀬戸内海漂着物関連資料、調査シートは別紙参照。